



インスピレーションになるう

2018-19年度 山形南ロータリークラブ会長方針

「ふるさとを見直し、活かそう」

山形南ロータリークラブ会報

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT2800

Rotary



RI会長：バリー・ラシン 2800地区ガバナー：上林 直樹 ガバナー補佐：伊藤 吉明

会長：金子 靖二 幹事：熊谷 昌和 会報・史料委員会 委員長：山下 宏

委員：金田 亮一 土肥 成二 遠藤 幸司 丹野 善将 佐々木啓亮

第2228回例会

2018-9/4(火) 天気(曇り)

□例会場：ホテルキャッスル

□司会進行(SAA)：鉄 浩二 君

□点 鐘：PM 12:30 金子 靖二 会長

□ロータリーソング：「国歌」「四つのテスト」

会長挨拶

— ALSチャリティ基金とクリオネット車椅子贈呈式例会 —



皆さん、こんにちは。本日は、山形北RC佐藤幸蔵様、山形イブニングRC渡邊由紀夫様、服部彰彦様、日本ALS協会山形県支部 後藤秀雄事務局長様、理事の安孫子 進様、山形県支部長 行方幸雄様と奥様をお招きしての例会です。

さて、ガバナー公式訪問例会も無事終了し、ホットする間もなく9/1クラブ奉仕セミナー参加のため酒田市へ赴き、私と菊地副会長、熊谷幹事の三名で出席してまいりました。今回は、事の他内容が濃く、各クラブにそのことを伝え、三年未満の会員には資料をコピーして配布して下さいと言う熱の入れようでした。後程、委員会報告で詳しい説明があろうと思います。

さて、本日の例会は、ALSチャリティ基金の贈呈式と地区補助金活用のリクライニング式椅子車椅子の贈呈・披露も併せて行い、一部が新聞記事に掲載されます。話は戻りますが、セミナーの基調講演で「ロータリーは①ロータリアン同士の友情と基盤に、②立派なロータリアンを育てながら、③価値ある奉仕を通じて社会に貢献する世界的な団体である。」一番短いロータリーの定義と講師が力説しておりました。また、会員スピーチの機会をつくり、感動に満ちた話を促し、特に会長挨拶は感動、義理人情、向上心や奮起に繋がるスピーチをとの指導がありました。最後になりますが、今回のセミナー参加の内容を基に、一生懸命頑張りますので、皆様のご協力をお願い申し上げ、挨拶といたします。

幹事報告

熊谷 昌和 幹事

- 9月18日の例会はファイヤーサイド茅煮会例会です。ご案内はすでにさせていただいておりますが、補足として宿泊の方の帰りのバスはありませんので、自家用車でおいでになるか、乗り合いでお帰り下さい。よろしく申し上げます。
- 9月のロータリールートは112円です。
- 本日例会終了後、理事会がありますので、理事の方はお残り下さい。

委員会報告

親睦活動委員会 高梨徹也 君

9月の誕生日は、鈴木正則君、布施富将君、熊谷昌和君、谷口義洋君、佐々木健一君の5名の方です。おめでとうございます。



◇ビジター 佐藤 幸蔵様 (山形北)

渡邊由紀夫様 服部 彰彦様 (山形イブニング)

■ニコニコBOX 浅野 裕幸 君

- 布施 富将君 誕生祝いありがとうございました。
- 熊谷 昌和君 誕生祝いありがとうございました。
- 谷口 義洋君 誕生祝いありがとうございました。
- 佐藤 直人君 先週、中津RCに行っていました。
- 土肥 成二君 妻の誕生日にお花が届きました。ありがとうございました。
- 武田 和夫君 中津RCに行っていました。
- 金子 靖二君 ALS協会の皆様、北RC・イブニングRCの皆様お越しいただきありがとうございました。
- 寺崎 利彦君 ALS協会の皆様本日はありがとうございました。
- 青山治右衛門君 中津RCへ行ってまいりました。
- 渡邊由紀夫様 (山形イブニングRC)

例会場／ホテルキャッスル 例会日／毎週火曜日 12:30～13:30

事務所／山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社 社務所ビル2F TEL.023-632-7777 FAX.023-624-5200

山形市内 例会日案内

月曜日

山形西 山形イブニング

火曜日

山形中央

水曜日

山形

木曜日

山形北

金曜日

山形東

チャリティ基金とクリオネット車椅子贈呈式

会長挨拶 金子靖二会長

進行 社会奉仕委員長 寺崎利彦君

本日は、行方支部長はじめ、ALS 関係の方々、北 RC、イブニング RC の方々、月初めのお忙しい中お集まりいただき、大変申し訳ございません。8 / 15 恒例のチャリティゴルフコンペのご参加、ご協力に重ねて御礼申し上げます。お陰様でチャリティ基金も目標どおり集まり、今日 30 万円寄贈することができます。

さて、9 / 1 (土) 酒田で開催されたクラブ奉仕セミナーで、2800 地区 RC 会長集会の席上 ALS チャリティゴルフコンペを北 RC・イブニング RC 協力のもと、今年 23 年目をむかえて無事終了し、基金の贈呈とマスコミ報道の事を発表してきました。県内 RC 会員、新聞報道で市民の皆さんに難病指定の ALS、その活動をしている日本 ALS 協会山形県支部のご苦勞を、少しでも理解頂ければと思います。過日、NHK 番組で難病 ALS 特集が放映されました。最近 ALS 患者の治療薬の治験が始まり早期発見が大事で、一日も早い治療を促していました。IPS 治療にもふれていました。協力者の一員でもある私たちも大いに期待しているところです。結びになりますが、今回寄贈したリクライニング車椅子のお披露目を、使用説明を加えて行って下さる予定です。後日、会員の皆様には社会奉仕委員会活動として患者移送のお手伝いなども含めて、患者訪問を予定しております。



金森 正耕
チャリティゴルフコンペ
実行委員長

金森実行委員長より、チャリティ基金の経緯などをお話していただきました。



チャリティ基金の贈呈



クリオネット車椅子の贈呈



御礼の挨拶
行方支部長と代読奥様



日本ALS協会山形県支部
後藤 秀 雄 様

山形南ロータリークラブの皆様、こんにちは。日本ALS協会山形県支部事務局長の後藤と申します。いつも支部の活動につきましてもご支援を賜り感謝申し上げます。

この度は、ALSチャリティゴルフを開催いただきまして誠にありがとうございます。同時にチャリティーの趣旨にご賛同いただき、ご参加下さいました山形北、山形イブニングの皆様にも感謝申し上げます。ありがとうございました。

また、加えてフルリクライニングできる車椅子をご寄稿頂きまして、重ねて御礼申し上げます。山形県支部では、患者さんのサポート事業として入退院時の移送サポートを行っています。現在使用している車イスは、大分年季が入ってきていましたので、支部役員一同喜んでおります。大事に使わせて頂きたいと思っております。

山形県支部と山形南ロータリークラブ様とのお付き合いは、ハイメカ株式会社の会長でありました叶内さんがALSを発症し、平成7年日本ALS協会山形県支部設立にご尽力いただいて以来と聞いております。今年6月に第24回の支部総会を行うことができました。チャリティーゴルフも今回で23回ということで、変わらず20年以上もご支援を頂けるのは、設立にご尽力いただいた金森様はじめ現会長の金子様、歴代の会長様、並びに会員の皆様方のご支援とご協力があってのことだと思っています。

皆さんご存知とは思いますが、ALSと言う病気について、あらためてお話をさせていただきたいと思っております。ALSとは、筋萎縮性側索硬化症

『Amyotrophic Lateral Sclerosis (アミトロフィック ラテラル スクレロシス)』頭文字をとってALSと呼ばれています。全身の運動神経が浸されて自分で動かせる筋肉が萎縮していく進行性の神経難病です。

だいたい、40歳から60歳ぐらいで発症する方が多いようです。ほとんどの場合は、突然起こります。ある日突然、『転びやすくなった』とか、『手に力が入らなくて物が持ちにくい』、『言葉が不明瞭になる』、『食べ物や飲み込みにくくなった』と言うところから始まります。最初に現れる症状は、人それぞれなのですが、症状が進むと運動障がい、嚥下障がい、呼吸障がいがあります。さらに進行しますと、胃ろうや人口呼吸器が必要になります。しかし、意識、五感最後まで正常で、知能の動きも変わりません。

ALSは難病中の難病と言われております。現在、有効な治療法や薬はありません。しかし、iPS細胞を使った研究が行われ、パーキンソン病や網膜の治療にiPSを使って治験が行われています。ALSについてもいろいろな研究が行われており、近い将来、素晴らしい治療法が開発されることを期待しております。

現在、山形県支部の活動で、一番力を入れているのは、県内4保健所ごとに行います『井戸端会議』という交流会です。それぞれ年1~2回行っております。井戸端会議では、患者さんとその家族、保健所などの行政、専門職なども参加しまして、普段困っている事とか、相談したいことなど、お茶を飲みながらざっくばらんに話し合える場として実施しております。

次に、先ほども申し上げましたが、山形県支部では、『JALSA号』というリフト付きワゴン車を使って、患者さんの入退院時や外出のお手伝いなどの移送サポート事業を行っています。患者さんの症状もいろいろで、通常の車イスで良い方もいれば、フルリクライニングしてベッド状にして利用しなければならぬ方もいらっしゃいます。そこで、先ほどご寄贈頂きました、車イスが活躍することになります。色々な症状の方に対応できる車イスは、非常にありがたく、大事に使わせて頂きたいと思っております。

次に機関誌『JALSAやまがた』を年3回発行しております。ALS協会会員の方にはお送りしておりますが、テーブルに8月28日に発行されたばかりの第67号と66号を持ってきておりますのでご覧ください。

患者さんが安心して療養生活ができる環境をつくるため支部活動に努力していきたく思っています。今後とも山形県支部に、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。本日はありがとうございました。

○本日出席・前回修正出席

	会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本 日	57名	47名	38名	95.74%
前回修正	56名	47名	45名	95.74%
他クラブで メイクアップ された会員	(中 津) 大久保章宏 石山 祐介 (山形中央) 木村 政則 岡本野仁美 (山形東) 宮部 順治 (地 区) 金子 靖二	鈴木 政康 佐藤 直人 神崎 成二 神崎 祐子 熊谷 昌和	熊谷 昌和 青山治右衛門 伊藤 誠 本間 安信 鈴木 政康 菊地 賢治	中村 篤 武田 和夫 長沢 一好 本間 安信

※本日の結果は2週間後に報告

※修正は2週間前の結果報告

出席会員数÷算出会員数=出席率

算出会員数とは?

出席義務会員+メイク免除会員の出席者

出席会員数とは?

出席義務会員の出席者+メイク免除会員の出席者+メイク会員